

三鷹市立東台小学校 令和5年度【外国語科】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第5学年	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能中心の指導になっており、自発的発話への意欲が低い。 ○話してみたい、伝えてみたいと思わせる動機付けができていない。 <p>(授業改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業のねらいを明確にし、クラス全体で確認する。 ◎教員とALT、教員と児童間の対話を増やし、モデルを示しながら、自分ならどのように発言するか各自で考える機会をつくる。 ○単なる会話だけでなく、ジェスチャーや表情などでも気持ちを伝える工夫をする。 ○コミュニケーション(やり取り)の楽しさが感じられるような雰囲気づくりをする。 ○より積極的にALTを活用し、チームティーチングを意識する。 	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゲームなどを通して単語や表現に慣れ親しむことができていない。 ○教科書の映像やALTから他の国の人々の生活や習慣を知ることができている。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペアワーク・グループワークの際に、必要感のあるコミュニケーションとなっていない。 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入に学習の必然性や主体的な学びを引き出す工夫が少ない。 ○話してみたい、伝えてみたいと思わせる動機付けができていない。 <p>(授業改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実体験や具体的な場面に基いた発言が出てくるような発問をする。 ◎教員とALT、教員と児童間の対話を増やす。対話のモデルを示すことで、どのように発言するかを考える機会をつくる。
第6学年	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タブレットの音声機能を活用し、アクセントや舌などの動きの確認ができ、知識・技能の向上が見られた。また、単語を言うだけでなくどのようにすれば正しく発音することができるのかを考えることができ、今までの学びから広がりをもって取り組むことができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○聞き取って答えることができる児童が多いが、会話することに消極的な児童が多かった。 ○英語の消極的な児童に自信をもって取り組むことができるような支援が必要であった。 	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゲームなどを通して単語や表現に慣れ親しむことができていない。 ○教科書の映像やALTから他の国の人々の生活や習慣を知ることができている。 ○日直の挨拶やゲームをすることで人前で話すことに自信がもてるようになってきている。 ○日にちや曜日など簡単な語句を書き写したり、書いたりできるようになっている。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペアワーク、グループワークの活動が少ない。 ○単語や表現の反復が多くなり、覚えることが重視されてしまっている。 ○自分の実体験に結び付いたコミュニケーションができていない。 ○他者とコミュニケーションをとる楽しさを実感できていない。 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入に学習の必然性や主体的な学びを引き出す工夫が少ない。 ○知識・技能中心の指導になっており、自発的な発話に結び付いていない。 <p>(授業改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業のねらいを明確にし、クラス全体で確認する。 ○実体験に基づいた発言が出てくるような発問をする。 ◎教員とALT、教員と児童間の対話を増やし、モデルを示しながら、各自が自分ならどのように発言するか考える機会をつくる。 ○単なる会話だけでなく、ジェスチャーや表情などで気持ちを伝える工夫をさせる。 ○コミュニケーション(やり取り)の楽しさが感じられるような雰囲気づくりをする。 ○ALTをより積極的に活用し、チームティーチングを意識する。
くすの木学級	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イラストを多く取り入れたことで、何を学習するのが分かりやすかった。 ○単語が分からないときには、日本語やジェスチャーで表してよいことを伝えたことで、発言する子が増えた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国語の学習に臨みやすい環境づくりの工夫が必要である。 ○コミュニケーションをとるための活動時に、活動の内容を優先してしまう場合があるので、活動意図を明確にしていく。 	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ALTの発音を聞き、復唱することができた。 ○「Do you like～」の質問に「Yes I do」や「No I don't」の答え方の表現について理解し、答えることができた。 ○あいさつの歌では、映像を見ながら、動作を付けて楽しんで歌うことができた。 ○絵カードを使った神経衰弱では、発音しながらカードゲームを行うことができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同じことを何回も行わないと単語と絵がマッチングしない。自信がないと積極的に参加することが難しくなる。 ○みんなの前で発表することに抵抗感がある。 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国語の学習に臨みやすい環境づくりの工夫が必要である。 ○コミュニケーションをとるための活動時に、活動の内容を優先してしまう場合があるので、活動意図を明確にしていく。 <p>(授業改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎単語が分からないときには、日本語やジェスチャーで答えてもよいことを継続して伝えていく。周りの児童や大人に援助要請ができるようにしていく。 ○活動内容を増やし、様々な形式から英単語を習得できるようにしていく。 ○活動の流れを最初に示し、見通しを持たたり、活動の流れをパターン化し、安心して取り組めるようにする。